

高校会議所が独自商品 ニジマスやプリンを販売



プリンまつりに参加した皆さん(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、「にじます祭」と「ふじのみやプリンまつり」に参加し、市内の事業者と共同開発したオリジナル商品の販売などに励んだ。

それぞれの祭りは、富士山本宮浅間大社に多数の出店が並び、大きなにぎわいを見せた。

にじます祭では、くぬぎ鱒専門料理わくたまとのコラボでメンバーが発案した「宮鱒とおにぎり」を販売した。同会議所が作成した「にじます音頭」の披露や、富士山ご当地アイドル3776井出ちよのさんのライブなども盛り込んだ。

おにぎりは、「ニジマスの寒干し珍味」とばに注目して考えた。メンバーは「短時間で売り切れになり、商品開発の自信につながった。富士宮の新たな特産品創出に役立ったと思う」と報告した。

プリンまつりでは、藤太郎が同会議所とコラボして開発した「マスマス元気いもプリン」を販売した。

同会議所のオリジナル堆肥「マスマス元肥」を使って市内の企業トウネツが栽培した甘味たっぷりのサツマイモを材料に取り入れた。メンバーは販売を手伝ったほか、来場者に市の魅力やお薦めスポットを紹介した。今後の活動の参考にするため、土産などについての聞き取り調査も行った。